

種子島の水生昆虫の記録（2021年1月と5月）

中峯 浩司¹・中峯 敦子²

Record of Aquatic Insects on Tanegashima Island (January and May 2021)

NAKAMINE Koji¹ and NAKAMINE Atsuko²

キーワード：種子島, 水生昆虫, コウチュウ目, カメムシ目

はじめに

筆者らは、大隅諸島種子島において水生昆虫類の調査を行い、これまでに同島初記録となるホソセスジゲンゴロウ、ハイイロゲンゴロウ、チビマルガムシ、ヒメイトアメンボ4種を含むコウチュウ目33種、カメムシ目19種の合計14科51種を報告した（中峯・中峯, 2021）。

2021年も引き続き水生昆虫類の調査を行い、同年1月と5月の調査結果がまとまったので報告する。

1 調査者と調査日について

(1) 調査者

中峯浩司：鹿児島県立川内高等学校教諭，鹿児島県立博物館外部協力者

中峯敦子：鹿児島県立博物館学芸主事

(2) 調査日と調査地（ ）内の数字は、環境省メッシュコード

2021年1月3日

- ① 西之表市住吉深川（4530-7765）
- ② 中種子町田島苦浜川付近（4530-5793）
- ③ 中種子町坂井大浦川左岸（4530-5736）
- ④ 中種子町油久今熊野（4530-5576）

2021年1月17日

- ⑤ 西之表市安納軍場（4631-0095）
- ⑥ 西之表市現和深川（4631-0004）
- ⑦ 西之表市国上久保田（4631-1094）
- ⑧ 西之表市西之表今年川（4631-0051）
- ⑨ 西之表市西之表上野原町（4631-0072）
- ⑩ 西之表市安城川脇（4531-7063）
- ⑪ 西之表市国上柳原（4631-1034）

2021年5月8日

⑫ 西之表市西之表今年川（4631-0051）

⑬ 中種子町坂井屋久津（4530-5782）

⑭ 南種子町茎永中之町（4530-4766）

2021年5月9日

⑮ 中種子町坂井塩屋（4530-5745）及び（4530-5746）

⑯ 中種子町坂井大浦川左岸（4530-5736）

⑰ 南種子町中之下夏田（4530-4763）

2 調査方法, 標本について

採集は、水面からの見つけ採りの他、水網（網目1mm×1mm）を用い、水底の砂泥、水草、岸際の植生帯をすくい、得られた昆虫を採集した。現場では、同定が可能な大型種や個体数の多い種、希少種等の採集はなるべく最小限にとどめた。なお、中峯浩司採集の標本は、調査者本人が保管し、中峯敦子採集の標本は、鹿児島県立博物館に収蔵する。

3 調査結果

データは採集地、採集日、採集個体数、雌雄、採集者（中峯浩司採集は(K)、中峯敦子採集は(A)と記す。）の順に示した。また、種についてのコメントを、データの後に付した。学名、種の配列等については、中島ほか（2020）に従った。

コウチュウ目（鞘翅目） COLEOPTERA

コガシラミズムシ科 Haliplidae

・コガシラミズムシ *Peltodytes intermedius* (Sharp, [1873])

西之表市西之表今年川（8.V 1ex.）(K)

湿地で得られた。

・マダラコガシラミズムシ

Haliphus sharpi (Wehncke, 1880)

1 鹿児島県立川内高等学校：鹿児島県薩摩川内市御陵下町6-3

2 鹿児島県立博物館：鹿児島市城山町1-1

西之表市西之表今年川 (8.V 1ex.) (K)
中種子町油久今熊野 (3.I 22exs.) (K)
中種子町坂井屋久津 (8.V 3exs.) (K)
水田地帯の一角にある良好なため池では多数の
個体が得られた。

中種子町坂井屋久津 (8.V 4exs.) (A)
〃 (8.V 1ex.) (K)
西之表市西之表今年川 (8.V 2exs.) (K)
南種子町中之下夏田 (9.V 1ex.) (K)
各地に普通である。

コツブゲンゴロウ科 Noteridae

- ・コツブゲンゴロウ *Noterus japonicus* Sharp, 1873
中種子町坂井大浦川左岸 (3.I 1ex.) (K)
〃 (8.V 1ex.) (K)
中種子町油久今熊野 (3.I 1ex.) (A)
〃 (3.I 6exs.) (K)
中種子町坂井屋久津 (8.V 1ex.) (K)
南種子町茎永中之町 (8.V 3exs.) (K)
南種子町中之下夏田 (9.V 4exs.) (K)
各地に普通である。

- ・ムツボシツヤコツブゲンゴロウ
Canthydrus politus (Sharp, [1873])
中種子町 (8.V 10exs.) (A)
中種子町坂井屋久津 (8.V 6exs.) (K)
南種子町茎永中之町 (8.V 1ex.) (K)
南種子町中之下夏田 (9.V 2exs.) (K)
各地で見つかった。生息地での個体数は少なく
ない。

ゲンゴロウ科 Dytiscidae

- ・ケシゲンゴロウ
Hydrovatus japonicus japonicus (Sharp, 1873)
中種子町油久今熊野 (3.I 3exs.) (A)
〃 (3.I 8exs.) (K)
生息地は少ないようである。
- ・コマルケシゲンゴロウ
Hydrovatus acuminatus (Motschulsky, 1859)
西之表市安納軍場 (17.I 2 exs.) (K)
西之表市西之表今年川 (8.V 19exs.) (K)
中種子町坂井塩屋 (9.V 2exs.) (K)
中種子町坂井屋久津 (8.V 1ex.) (K)
南種子町茎永中之町 (8.V 3exs.) (K)
南種子町中之下夏田 (9.V 2exs.) (K)
各地に普通である。
- ・チビゲンゴロウ
Hydroglyphus japonicus japonicus (Sharp, [1873])
西之表市安納軍場 (17.I 11exs.) (K)

- ・マルチビゲンゴロウ属の一種 *Leiodytes* sp.
西之表市西之表今年川 (8.V 7exs.) (K)
これまでに中種子町田島から1頭が記録されて
いる (中峯 2020)。今回、多数の個体を採集
できたが、微小種であるため、交尾器の観察に
至っていない。
- ・ツブゲンゴロウ *Laccophilus difficilis* Sharp, 1873
中種子町油久今熊野 (3.I 5 exs.) (A)
〃 (3.I 30exs.) (K)
種子島での分布は限られているが、生息地での
個体数は少なくない。
- ・ホソセスジゲンゴロウ
Copelatus weymarni (Balfour-Browne, 1947)
西之表市西之表今年川 (8.V 1♀) (K)
♀個体であるが、中峯・中峯 (2021) で記録し
た標本との比較から本種と同定した。
- ・リュウキュウセスジゲンゴロウ
Copelatus oblitus (Sharp, 1882)
中種子町坂井屋久津 (8.V 1♂他12exs.) (K)
1♂の交尾器の観察から本種と同定した。
- ・マメゲンゴロウ *Agabus japonicus* (Sharp, 1873)
西之表市安納軍場 (17.I 1ex.) (K)
西之表市安城川脇 (17.I 1ex.) (K)
西之表市西之表今年川 (17.I 4exs.) (K)
〃 (8.V 1ex.) (K)
中種子町坂井大浦川左岸 (3.I 6exs.) (A)
〃 (3.I 5exs.) (K)
中種子町坂井塩屋 (9.V 13exs.) (K)
中種子町坂井屋久津 (8.V 2exs.) (K)
各地に普通である。
- ・ヒメゲンゴロウ *Rhantus suturalis* (Macleay, [1825])
西之表市国上久保田 (17.I 1♂) (K)
西之表市西之表今年川 (17.I 2♂3♀) (K)
〃 (8.V 1♀) (K)
西之表市国上柳原 (17.I 1♀) (K)

- 中種子町坂井大浦川左岸 (3. I 2♀) (A)
 ♪ (3. I 1♂3♀) (K)
 中種子町油久今熊野 (3. I 3exs.) (A)
 ♪ (3. I 2♂3♀) (K)
 中種子町坂井塩屋 (9. V 2♀) (K)
 中種子町坂井屋久津 (8. V 3♂) (K)
 南種子町茎永中之町 (8. V 1♀) (K)
 各地に普通である。
- ・シマゲンゴロウ *Hydaticus bowringii* (Clark, 1864)
 中種子町油久今熊野 (3. I 4♂1♀) (A)
 ♪ (3. I 1♂) (K)
 中種子町坂井屋久津 (8. V 2♂) (A)
 ♪ (8. V 3♂1♀) (K)
 各地に見られるが、個体数は一般に多くない。
- ・ウスイロシマゲンゴロウ
Hydaticus rhantoides (Sharp, 1882)
 西之表市安納軍場 (17. I 2♀) (K)
 西之表市西之表今年川 (17. I 2♂2♀) (K)
 ♪ (8. V 1♂4♀) (K)
 西之表市国上柳原 (17. I 1♂2♀) (K)
 中種子町田島苦浜川付近 (3. I 1♀) (K)
 中種子町坂井大浦川左岸 (3. I 2♂) (A)
 ♪ (3. I 2♂) (K)
 中種子町油久今熊野 (3. I 5♂3♀) (A)
 ♪ (3. I 3♂4♀) (K)
 中種子町坂井屋久津 (8. V 2♂2♀) (A)
 ♪ (8. V 3♂3♀) (K)
 中種子町坂井塩屋 (9. V 2♂1♀) (K)
 南種子町茎永中之町 (8. V 1♀) (K)
 各地に普通で、個体数はヒメゲンゴロウより多い。
- ・クロゲンゴロウ *Cybister brevis* (Aubé, 1838)
 西之表市西之表今年川 (17. I 1♂) (K)
 南種子町中之下夏田 (9. V 1♀) (K)
 種子島での分布は限られ、希な種である。
- ・コガタノゲンゴロウ
Cybister tripunctatus lateralis (Fabricius, 1798)
 西之表市住吉深川 (3. I 1♀) (A)
 中種子町田島苦浜川付近 (3. I 2♀) (K)
 中種子町坂井大浦川左岸 (3. I 1♂) (A)
 ♪ (3. I 2♂) (K)
 中種子町油久今熊野 (3. I 4♂2♀) (A)

- ♪ (3. I 3♀) (K)
 中種子町坂井塩屋 (9. V 1♂3♀) (K)
 中種子町坂井屋久津 (8. V 1♀) (K)
 南種子町茎永中之町 (8. V 1ex.) (K)
 各地に普通である。
- ・ヒメフチトリゲンゴロウ
Cybister rugosus (Macleay, [1833])
 中種子町 (3. I 1♂) (K)
 採集地は、中峯・中峯 (2021) で報告した場所とは異なる。希少種の継続的な保護と今後の調査の必要があるため、採集地の詳細は伏せる。

ミズスマシ科 Gyridae

- ・オオミズスマシ *Dineutus orientalis* (Modeer, [1776])
 中種子町坂井大浦川左岸 (3. I 2exs.) (A)
 ♪ (3. I 2exs.) (K)
 ♪ (8. V 1exs.) (K)
 中種子町油久今熊野 (3. I 3exs.) (A)
 ♪ (3. I 1ex.) (K)
 各地で見られるが、一般に個体数は少ない。
- ・ミズスマシ *Gyrinus japonicus* (Sharp, 1873)
 西之表市現和深川 (17. I 2exs.) (K)
 中種子町坂井塩屋 (9. V 15exs.) (K)
 中種子町坂井大浦川左岸 (8. V 1ex.) (K)
 南種子町茎永中之町 (8. V 17exs.) (K)
 南種子町中之下夏田 (9. V 15exs.) (K)
 各地に見られる。他の種が混在していないかと思ひ、多数採集したが本種のみのものである。

ガムシ科 Hydrophilidae

- ・トゲバゴマフガムシ *Berosus lewisius* (Sharp, 1873)
 中種子町坂井屋久津 (8. V 2exs.) (K)
 湿地帯で得られた。少ない種のものである。
- ・ゴマフガムシ *Berosus punctipennis* (Harold, 1878)
 中種子町油久今熊野 (3. I 1ex.) (A)
 ♪ (3. I 3exs.) (K)
 水田地帯の一角にある良好なため池で得られた。
- ・マメガムシ *Regimbartia attenuata* (Fabricius, [1801])
 西之表市安納軍場 (17. I 2exs.) (K)
 西之表市西之表今年川 (17. I 1ex.) (K)
 中種子町油久今熊野 (3. I 1ex.) (A)
 ♪ (3. I 3exs.) (K)

中種子町坂井塩屋 (9.V 3exs.) (K)
中種子町坂井屋久津 (8.V 3exs.) (K)
中種子町 (8.V 8exs.) (A)
南種子町茎永中之町 (8.V 2exs.) (K)
各地に普通であるが、個体数は多くない。

・ガムシ *Hydrophilus acuminatus* (Motschulsky, 1854)

中種子町油久今熊野 (3. I 1♂) (A)
〃 (3. I 2exs.) (K)
中種子町坂井屋久津 (8.V 1ex.) (K)
各地に見られるが、一般に個体数は少ない。

・コガタガムシ

Hydrophilus bilineatus cashimirensis (Kollar & Redtenbacher, 1844)

中種子町油久今熊野 (3. I 2exs.) (A)
〃 (3. I 3exs.) (K)
中種子町坂井塩屋 (9.V 4exs.) (K)
中種子町坂井屋久津 (8.V 2exs.) (K)
水生植物の繁茂するため池や湿地に見られた。

・ヒメガムシ

Sternolophus rufipes (Fabricius, [1792])

中種子町坂井大浦川左岸 (3. I 1ex.) (K)
中種子町油久今熊野 (3. I 3exs.) (K)
西之表市安納軍場 (17. I 2 exs.) (K)
西之表市西之表今年川 (17. I 6exs.) (K)
〃 (8.V 1ex.) (K)
中種子町 (8.V 2exs.) (A)
中種子町坂井屋久津 (8.V 1ex.) (K)
各地に普通である。

・キイロヒラタガムシ

Enochrus simulans (Sharp, [1873])

中種子町油久今熊野 (3. I 3exs.) (A)
〃 (3. I 7exs.) (K)
西之表市安納軍場 (17. I 2exs.) (K)
西之表市国上久保田 (17. I 4exs.) (K)
西之表市西之表今年川 (17. I 1ex.) (K)
〃 (8.V 2exs.) (K)
南種子町茎永中之町 (8.V 1ex.) (K)
南種子町中之下夏田 (9.V 1ex.) (K)
中種子町坂井屋久津 (8.V 6ex.) (K)
各地に普通である。中種子町油久今熊野の個体はいずれも背面が黒く、異質な感じがする。

・ルイスヒラタガムシ

Helochares pallens (MacLeay, [1825])

中種子町油久今熊野 (3. I 5exs.) (K)
中種子町坂井大浦川左岸 (8.V 5exs.) (K)
西之表市安納軍場 (17. I 2exs.) (K)
西之表市西之表今年川 (8.V 7ex.) (K)
南種子町茎永中之町 (8.V 1ex.) (K)
南種子町中之下夏田 (9.V 1ex.) (K)
各地に普通である。上翅会合部の暗色斑が目立たないか、ほとんど見られない個体が多い。

・セマルガムシ *Coelostoma stultum* (Walker, [1858])

中種子町坂井屋久津 (8.V 1ex.) (K)
牧草地の湿地で得られた。

カメムシ目 (半翅目) HEMIPTERA

タイコウチ科 Nepidae

・タイコウチ *Laccotrephes japonensis* Scott, 1874

西之表市国上久保田 (17. I 1ex.) (K)
松井 (1988) に1987年に採集された中種子町御新田の池の記録 (1頭) と南種子町郡原の記録 (2頭) がある。当時は普通種だったと思われるが、これまでの調査では確認できていなかった。稀少種となっている可能性もある。

ミズムシ科 Corixidae

・チビミズムシ属の一種 *Micronecta* sp.

西之表市住吉深川 (3. I 2exs.) (A)
〃 (3. I 1ex.) (K)
中種子町坂井屋久津 (8.V 1ex.) (K)
南種子町中之下夏田 (9.V 1ex.) (K)
各地に見られるが、交尾器の観察が必要であり、種の同定に至っていない。

・エサキコミズムシ *Sigara septemlineata* (Pavia, [1918])

西之表市住吉深川 (3. I 1♂1♀) (K)
中種子町田島苦浜川 (3. I 4♂2♀) (K)
中種子町坂井大浦川左岸 (3. I 1♂) (K)
西之表市現和深川 (17. I 5♂6♀) (K)
西之表市国上久保田 (17. I 12♂20♀) (K)
西之表市安城川脇 (17. I 2♂5♀) (K)
中種子町坂井屋久津 (8.V 7♂3♀) (K)
各地に普通である。

・トカラコミズムシ *Sigara distorta* (Distant, 1911)

中種子町坂井屋久津 (8.V 7♂13♀) (K)

水質の良いため池で得られた。中島ほか (2020) には「南西諸島 (中之島以南) に分布する」とある。雄の前脚附節のペグ列がゆるやかに弧を描くことから本種と同定した。種子島初記録と思われる。(図1, 2)

マツモムシ科 Notonectidae

- ・マツモムシ *Notonecta triguttata* (Motschulsky, 1861)
中種子町坂井大浦川左岸 (3. I 1ex.) (K)
中種子町油久今熊野 (3. I 2exs.) (A)
〃 (3. I 1ex.) (K)
西之表市安城川脇 (17. I 1ex.) (K)
中種子町坂井塩屋 (9. V 1ex.) (K)
各地に普通であるが、個体数は少ない。
- ・コマツモムシ *Anisops ogasawarensis* (Matsumura, 1915)
西之表市住吉深川 (3. I 2♂2♀) (K)
中種子町田島苦浜川付近 (3. I 1♂8♀) (K)
種子島では県本土に比べて少ない種かもしれない。
- ・イシガキコマツモムシ *Anisops occipitalis* (Breddin, 1905)
中種子町坂井塩屋 (9. V 2♂5♀) (K)
中種子町坂井屋久津 (8. V 11♂7♀) (K)
これまでに種子島南部の2カ所で見つかった (中峯・中峯 2021) が、さらに2カ所が追加されて記録地は4カ所となった。
- ・ヒメコマツモムシ *Anisops tahitiensis* (Lundblad, 1934)
西之表市住吉深川 (3. I 1♂) (A)
中種子町田島苦浜川付近 (3. I 11♂15♀) (K)
中種子町坂井塩屋 (9. V 10♂13♀) (K)
中種子町坂井屋久津 (8. V 4♂9♀) (K)
南種子町茎永中之町 (8. V 3♀) (K)
南種子町中之下夏田 (9. V 1♀) (K)
各地に普通で、個体数も多い。
- ・チビコマツモムシ *Anisops exuguus* (Horváth, 1919)
中種子町田島苦浜川 (3. I 2♂1♀) (A)
〃 (3. I 1♂5♀) (K)
中種子町坂井屋久津 (8. V 8♂3♀) (K)
他のコマツモムシ属と同時に見つかることが多い。
- ・ハナダカコマツモムシ *Anisops nasutus* (Fieber, 1851)
中種子町田島苦浜川 (3. I 1♂1♀) (A)

〃 (3. I 1♂5♀) (K)
中種子町坂井屋久津 (8. V 1♂1♀) (K)
個体数は多くはないが島内の各地で見つっている。

マルミズムシ科 Pleidae

- ・マルミズムシ *Paraplea japonica* (Horváth, [1904])
中種子町坂井屋久津 (8. V 7exs.) (A)
〃 (8. V 7exs.) (K)
分布は限られるが、生息地での個体数が多い。

ミズカメムシ科 Mesoveliidae

- ・ミズカメムシ *Mesovelia vittigera* (Horváth, 1895)
中種子町田島苦浜川付近
(3. I 長翅型1♂, 他6♂7♀) (K)
中種子町坂井屋久津 (8. V 3♀) (K)
本種の長翅型の記録は初めてとなる。

イトアメンボ科 Hydrometridae

- ・オキナワイトアメンボ
Hydrometra okinawana (Drake, 1951)
中種子町坂井屋久津 (8. V 8♂19♀) (K)
南種子町茎永中之町 (8. V 7♂) (K)
各地に見られ、場所によっては個体数も多い。

カタビロアメンボ科 Veliidae

- ・ケシカタビロアメンボ属の一種 *Microvelia* sp.
中種子町 (8. V 4exs.) (A)
中種子町坂井塩屋 (9. V 1ex.) (K)
中種子町坂井屋久津 (8. V 13exs.) (K)
中種子町坂井大浦川左岸 (8. V 2exs.) (K)
西之表市西之表今年川 (8. V 6exs.) (K)
南種子町茎永中之町 (8. V 4exs.) (K)
南種子町中之下夏田 (9. V 5exs.) (K)
微小種で似た種も多く、種を同定できていない。

アメンボ科 Gerridae

- ・アメンボ (ナミアメンボ)
Aquarius paludum paludum (Fabricius, [1794])
西之表市国上久保田 (17. I 1♀) (K)
南種子町茎永中之町 (8. V 1♂) (K)
南種子町中之下夏田 (9. V 2♂1♀) (K)
各地に見られるが、個体数は多くない。
- ・コセアカアメンボ *Gerris gracilicornis* (Horváth, [1879])
西之表市安納軍場 (17. I 1♂2♀) (K)

中種子町坂井塩屋 (9.V 1♂1♀) (K)
 南種子町茎永中之町 (8.V 3♂2♀) (K)
 南種子町中之下夏田 (9.V 1♂1♀) (K)
 水辺の端の薄暗い場所に見られた。

- ・ヒメアメンボ *Gerris latiabdominis* (Miyamoto, 1958)
 中種子町坂井塩屋 (9.V 1♂) (K)
 中種子町坂井屋久津 (8.V 1♂1♀) (K)
 南種子町茎永中之町 (8.V 1♂) (K)
 南種子町中之下夏田 (9.V 1♀1幼虫) (K)
 各地に普通であるが、ため池には少ない。

- ・シマアメンボ *Metrocoris histrio* (White,[1883])
 西之表市西之表上野原町 (17. I 4♂) (K)
 南種子町茎永中之町 (8.V 4♀) (K)
 薄暗い流水のある場所で得られた。

ミズギワカメムシ科 Saldidae

- ・ミズギワカメムシ科の一種
 中種子町坂井塩屋 (9.V 1ex.) (K)
 似た種が多く、同定は困難である。

4 考察

今回の調査では、2目14科48種が記録された。このうち、松井(1988)、松井ほか(1988)や中島ほか(2020)に掲載の種で、これまでに筆者らが採集できていない種が15種ほどあったが、今回の調査で、タイコウチを再確認することができた。また、新たな種として、トカラコミズムシが記録された。このほか、未同定の標本があり、新記録種を含んでいる可能性がある。今後も精査し、報告を継続したい。

なお、中峯・中峯(2021)において、メミズムシ科メミズムシ *Ochterus marginatus marginatus* (Latreille, 1804)を種子島初記録として報告していたが、塚田(2007)によって2005年、中種子町の記録がすでに報告されていたので訂正する。

引用文献

- 松井英司(1988) 1987年水生昆虫採集記(種子島).
Satsuma (99): 1-10.
 松井英司・高井泰・田辺力(1988) 鹿児島県の水生昆虫相. *Satsuma* (100): 61-115.
 松井英司(2003) 鹿児島県で採集された水生昆虫類.
Satsuma (128): 11-16.
 中島淳・林成多・石田和男・北野忠・吉富博之(2020)
 日本の水生昆虫. 351pp. 文一総合出版, 東京.
 中峯浩司(2020) 2018年と2019年に種子島で採集した水生昆虫類. *Satsuma* (165):147-157.
 中峯敦子・中峯浩司(2021) 種子島における水生昆虫の記録(2020). 鹿児島県立博物館研究報告(40): 1-8.
 塚田 拓(2007) メミズムシを種子島で発見. 月刊むし(434):48



図1 トカラコミズムシ♀



図2 トカラコミズムシ♂の前脚附節ペグ列